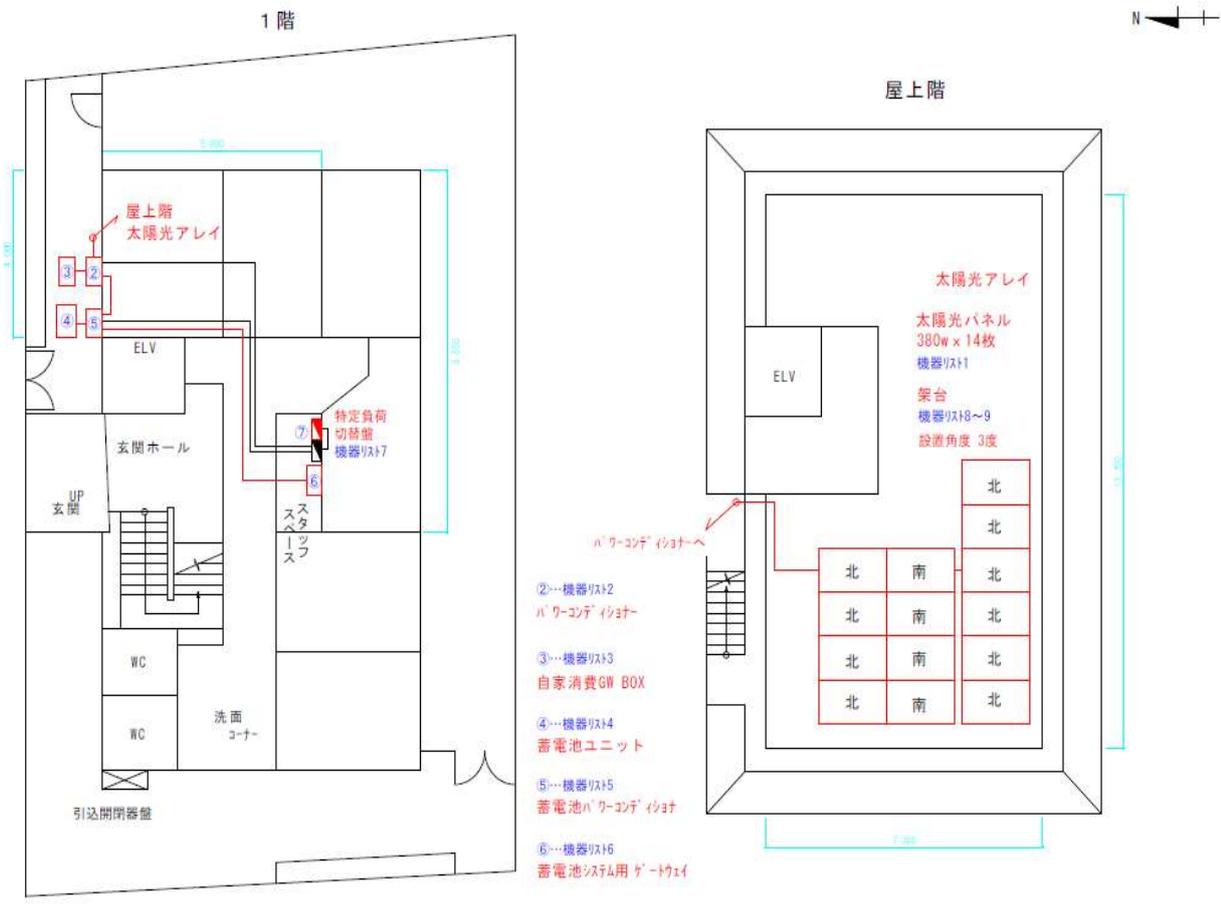


# グループホームにじの空に太陽光発電・蓄電池システムを導入しました

今年度、にじの会では5カ所の事業所（ケアホームにじ、にじの森、にじの空、にじアート、ワークショップハーモニー）で、太陽光発電・蓄電池システムを導入します。

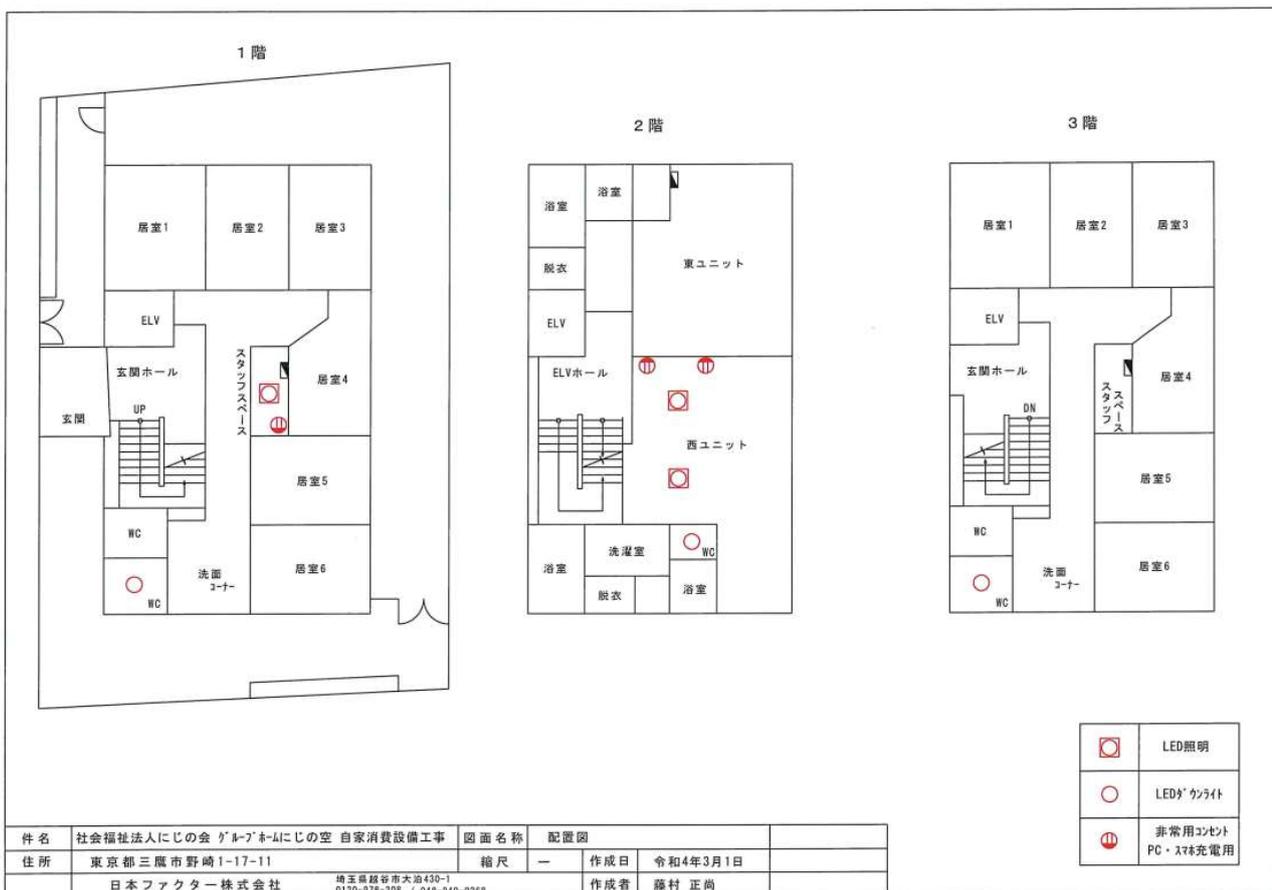
9月4日にグループホームにじの空の工事が完了し、運用を開始しました。

## 1、導入した設備の概要



設置場所	東京都三鷹市野崎1-17-11	
モジュール	メーカー	XSOL
	型式	XLM120-380L
	枚数	14
	合計出力	5.32 kW
パワーコンディショナ	メーカー	オムロン
	型式	KPW-A55-2PJ4
	メーカー	オムロン
	型式	KBPB-A
蓄電池	合計出力	9.5 kW
	メーカー	オムロン
	型式	KP-BU98B-S
	出力	9.8 kWh

## 2、停電時専用電源(コンセント、照明)の設置場所



## 3、導入の目的

本事業所は、知的障害者のみが居住するグループホームです。蓄電池システムを併設する太陽光発電システムを導入することにより、発電した電力の余剰分を夜間などに消費することで無駄なく電力を発電・消費できます。本事業は、当法人が目指す国連サミットで採択されたSDGsへの取り組みの1つと考えています。

また、想定される首都直下型地震等の大規模災害時に、障害者が公共の避難所に滞在することは困難なので、可能な限り本施設に留まることとなります。その際に非常用電源として使用します。

## 4、導入の効果

グループホームにじの空では、2015年の竣工時から空調設備、照明設備等には高効率設備を導入しています。トイレ等の照明設備は人感センサー付きの照明設備になっており、消し忘れを防止しています。温水洗浄便座は、「節電」モードに設定しています。また、「水道光熱費点検表」を作成し、毎日の点検を実施して省エネを実施して来ました。

今回の太陽光発電・蓄電池システムの導入による効果は、以下の通りとなります。

- ・事業所の年間電気消費量の約27%を発電することができる（試算）
- ・年間、約2,843kgのCO<sub>2</sub>を削減（試算）
- ・年間で約18万円の電気料金の削減（試算）
- ・同時に導入した蓄電池による停電時の非常電源の確保
- ・屋根への直射日光低減による冷房の効率化

にじの会では、他の5事業所でも太陽光発電システムを導入しており、地球環境にとってもやさしい再生可能エネルギーで電力を賄うことで脱炭素社会を目指す世界に貢献します。